



KIX メガソーラーの発電開始 ～アジアの空港で最大級の空港発電所が始動～

新関西国際空港株式会社は、環境先進空港をめざしてスマート愛ランド構想を策定し、環境への取り組みを進めております。その中でもグリーンイノベーションの取り組みとして、太陽光発電や水素発電などのクリーンエネルギー事業の拡大に取り組んでおります。

アジアの空港としては最大級の規模となる、KIX メガソーラー(SF 関西メガソーラー関西国際空港発電所)がこのたび完工し、2月1日から運用を開始することとなりましたので、下記の通り開所式を行います

このKIXメガソーラーは、事業主である「SF 関西メガソーラー株式会社(代表取締役:山本真:大阪府大阪市)」が、B滑走路南側誘導路拡張予定地沿いの土地(約96,700平方メートル)および貨物上屋等の屋根(約23,000平方メートル)を借り上げ、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用して発電事業を行うもので、初年度の予定年間電力量は約1,200万kwhとなり、関西国際空港での使用電力のうち約7%に相当します。

また、空港島内での発電は、エネルギーセキュリティの観点からも大変有意義であり、災害時の非常用電源として活用出来るよう引き続き検討を進め、「安全・安心」な空港運営の実現に努めてまいります。

関西国際空港では引き続き、新たな太陽光発電や風力発電、水素エネルギーなどのクリーンエネルギーの創エネに組み込み、更なる環境先進空港をめざしてまいります。

※春頃にはKIXメガソーラーの見学を取り入れた環境見学ツアーを開始する予定です。

記

○ 開所式について

- ・ 日 時 : 2014年1月30日(木) 11時45分～12時00分
- ・ 場 所 : SF 関西メガソーラー 関西国際空港発電所
- ・ 出席者 : 新関西国際空港株式会社 代表取締役社長 安藤圭一 (敬称略)

○ KIX メガソーラーの施設概要

- ・ 事業会社 : SF 関西メガソーラー株式会社
- ・ 発電容量 : 約11,600キロワット
- ・ 年間電力量(初年度予定) : 約1,200万kwh(CO₂削減量年間約4,000トン)
- ・ 発電事業開始日:2014年2月1日(土) 0時から





○ 発電状況等が確認出来るモニターのデモンストレーション

- ・ KIX メガソーラーの発電状況等が確認出来るモニターを、本開所式にあわせて、以下の期間設置します。

(期 間) 2014年1月30日(木) 12時00分～17時00分

(場 所) 第1ターミナルビル 2階中央案内カウンター横

(その他) 今後、第1ターミナルビル、第2ターミナルビル等に常設する予定です。



画面イメージ



★ 設置場所(第1ターミナルビル2階)

【スマート愛ランド構想とは】

従来の人と地球にやさしい空港づくりに加え、「スマート」なクリーンエネルギーやITによるエネルギーの効率化を融合し、世界最高水準の「環境先進空港」を目指すもので、3つの環境理念(グリーンイノベーション、エコオペレーション、エコリレーション)と5つの基本方針(地域環境、地球環境、資源循環、生物多様性、共生)を核に、「スマート愛ランド推進計画」を策定し、スマート愛ランド推進協議会のメンバー等と共に「スマート愛ランド」の実現に向けて取り組むものです。

スマート愛ランド推進計画では、関西国際空港の使用電力のうち10%をクリーンエネルギーにより創エネするという目標を掲げております。



【SF 関西メガソーラー株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社(代表取締役社長:玉井裕人:東京都港区)と株式会社日本政策投資銀行(社長:橋本徹:東京都千代田区)が設立した共同投資会社



2014年1月24日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

**関西国際空港メガソーラーが完成
～アジアの空港で最大級の空港発電所～**

ソーラーフロンティア株式会社(代表取締役社長:玉井裕人、所在地:東京都港区、以下「ソーラーフロンティア」と)と株式会社日本政策投資銀行(社長:橋本徹、所在地:東京都千代田区、以下「DBJ」)による共同設立会社 SF ソーラーパワー株式会社の100%子会社である SF 関西メガソーラー株式会社は、関西空港内に大規模太陽光発電施設(メガソーラー)を、このたび完工しました。この「SF 関西メガソーラー 関西国際空港発電所」は、同空港のスマートアイランド構想の一環です。なお、発電開始は、2014年2月1日を予定しています。

ソーラーフロンティア製 CIS 薄膜太陽電池は、総発電量の高さや、光の反射が航空機の運航に影響を与えない防眩性などの特性を持っています。このようなパネルの特性に加え、海外プロジェクト等で磨かれたソーラーフロンティアの技術サポート力、DBJの資金調達支援が事業への信頼につながっています。ソーラーフロンティア社長の玉井裕人は、「10MWを超えるメガソーラーを、着工から7カ月というスピードで発電開始できるのは、当社のプロジェクト遂行力の高さを示すものです。計画通りの完成を迎え、関西国際空港の掲げる環境先進空港のコンセプトの推進に貢献することが出来ました。関係者各位のご尽力に感謝します。」と述べています。

ソーラーフロンティアは、このメガソーラーで、発電事業者としての維持・管理のノウハウを更に磨き上げていく考えです。さらには、空の玄関とも言うべき関西国際空港内の立地を生かし、CIS 薄膜太陽電池の性能と自らの運営力の高さをグローバルマーケットに対しても、発信してまいります。

以上

【施設概要】

発電容量	約 11,600 キロワット
初年度予想発電電力量	約 12 百万 kwh (一般住宅の年間電力使用量の約 4,100 世帯分、CO2 約 4,000t 分)
発電事業開始日	2014年2月1日(予定)



現地完成図

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(公称生産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvm 認証(JIS Q 8901)」などの第三者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:
ソーラーフロンティア株式会社 広報部
吉田 TEL: 03-5531-5792